TANAKA

白金、Platinum
触媒から抗がん剤まで、可能性を十分に秘めた期待の星。

金、Gold
装飾用はもちろん、携帯電話やスマホの中で極細線となって電気をつなぐ大切な役目を果たすマルチタレント。

銀、Silver
銀なくして写真は生まれなかった。鏡にも使われる身近な存在。

パラジウム、Palladium
水素を大量に取り込める性質で高純度水素製造装置として威力を発揮。

ロジウム、Rhodium
塊の状態であれば、どんなものにも溶けない。非常に硬く、表面を硬くするためにめっきに使われる。

イリジウム、Iridium
硬さ、耐食性に優れ、自動車用スパークプラグや、高温に耐えるためLED用サファイヤ基板製造用のるつぼにもに使用されている。

ルテニウム、Ruthenium
水から水素を発生させる光触媒として活躍。ハードディスクの記録容量の増加に貢献。

オスミウム、Osmium
バイオテクノロジーや科学捜査に役立っている。

この冊子は石灰石から生まれた環境に優しい新素材LIMEXを使用しており、1冊で約15Lの水を守ります。

LIMEXの処分方法

＜事業者の方へ＞ 産業廃棄物として処理してください。
＜一般消費者の方へ＞ LIMEXは可燃です。廃棄する場合はお住まいの自治体のルールに従ってください。なお、古紙回収には混ぜないでください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。

Printed with UV ink VOC Free

CSR報告書 2022

TANAKA
田中貴金属グループ

企業理念

TANAKAグループは、貴金属のリーディングカンパニーとして、
創造性あふれる技術力をもって、お客様の信頼と期待にスピーディーに応え、
貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会の実現と、美しい地球の未来に貢献します。

行動指針 Code of Conduct

1. あいさつ　Greet Everyone
1. えがお　Show your Smile
1. かんしゃ　Give Thanks
1. あんぜん　Maintain Safety
1. ちょうせん　Challenge Yourself

国内拠点

TANAKAホールディングス株式会社(THD)
- 本社(東京)

田中貴金属工業株式会社(TKK)
- 本社(東京)　- 岩手工場　- 富岡工場　- 市川工場　- 袖ケ浦工場
- 伊勢原工場　- 平塚工場　- 湘南工場　- 平塚テクニカルセンター
- 筑波事業所(テクニカルセンター)　- 伊勢原テクニカルセンター
- FC触媒開発センター　- TANAKA物流センター
- 名古屋支店　- 大阪支店　- 福岡支店　- 京都営業所

田中電子工業株式会社(TD)
- 佐賀本社工場　- 東京事務所　- 湘南分工場

EEJA株式会社(EEJA)
- 本社(東京)　- 平塚事業所

田中貴金属ジュエリー株式会社(TKJ)
- 銀座本店　- 横浜元町店　- 仙台店　- 名古屋店
- 心斎橋店　- 福岡 西鉄グランドホテル店

三友セミコンエンジニアリング株式会社(MSE)
- 本社・工場(茨城)

株式会社日本ピージーエム(PGM)
- 本社(東京)　- 小坂工場

海外拠点

田中貴金属工業株式会社(TKK)
- 台湾田中貴金属工業股份有限公司　- 新竹工場　- 湖口工場　- 台北営業　- 高雄営業　- 田中先端有色金属材料(寧波)有限公司
- 田中先端有色金属材料(成都)有限公司　- 田中貴金属工業株式会社 ソウル支店　- 田中貴金属工業株式会社 香港支店
- 田中貴金属(上海)有限公司　- 田中貴金属(上海)有限公司 深圳分公司　- 田中貴金属(シンガポール)株式会社
- 田中貴金属(シンガポール)株式会社 マニラ支店　- 田中貴金属インターナショナル(タイランド)株式会社
- 田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社　- 田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社 サンノゼ支店
- 田中貴金属インターナショナル(欧州)有限会社　- 田中貴金属(インド)株式会社

田中電子工業株式会社(TD)
- 田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd.(TES)　- 田中エレクトロニクス・マレーシア Sdn. Bhd.(TEM)　- 田中電子(杭州)有限公司(TEC)
- 台湾田中電子股份有限公司(TET)　- 台湾田中電子股份有限公司 南科分公司(TETK)　- 台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター(TET/TC)

EEJA株式会社(EEJA)
- 轶甲新材料科技(上海)有限公司

Metalor Technologies International SA

LT Metal Co., Ltd.(LT Metal)

Nippon PGM America, Inc.

Nippon PGM Europe S.R.O.

成都光明派特貴金属有限公司(GMPT)

2022年5月末現在

LBMA GOOD DELIVERY REFEREE

LPM LONDON PLATINUM & PALLADIUM MARKET

田中貴金属工業(株)は、ロンドン地金市場協会(LBMA)より、金および銀の公認審査会社に任命されています。また、ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット(LPPM)の公認審査会社にも任命されています。どちらも、世界で5社のみ(国内では田中貴金属工業のみ)が、貴金属の公認溶解業者の溶解技術・分析能力を審査する使命を担っています。

編集方針
CSR報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属グループが進めているCSR(企業の社会的責任)活動を報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に発行しています。
これからも皆様のお声を田中貴金属グループの今後の取り組みに活かしていきたいと考えておりますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

対象期間
2021年4月1日～2022年3月31日
ただし、各テーマに沿った会社の活動の全体像を知っていただくために、一部対象期間外の内容も掲載しています。

対象範囲
TANAKAホールディングス株式会社と連結子会社を含むグループ全体を対象としています。
ただし、メタローテクノロジーズインターナショナル株式会社を除きます。
なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。

発行時期
2022年9月

参考ガイドライン
ISO26000:2010
環境報告ガイドライン2018年版

ウェブサイト
本報告書の閲覧はバックナンバーを含め、下記のウェブサイトをご利用ください。
https://www.tanaka.co.jp/csr/index.html

発行責任部署
TANAKAホールディングス株式会社
サステナビリティ・広報本部　CSR推進部
〒100-6422　東京都千代田区丸の内2-7-3　東京ビルディング22階
TEL 03-6311-5506(直)　FAX 03-6311-5508
ホームページ　https://www.tanaka.co.jp/about/csr

写真:従業員の自宅で保護しているノカンゾウ・ハマカンゾウ

CONTENTS

02 トップメッセージ
04 TANAKAの事業
06 研究開発
08 品質と信頼
10 地球環境を守る
16 地域・社会への貢献
18 一人ひとりの活躍
22 より安全な職場環境づくり
24 健康経営の実現に向けて
26 誠実で健全な企業であるために
28 CSRパフォーマンス
31 CSRマネジメント
32 CSR報告書アンケート結果
33 第三者保証

全従業員の“知”を結集し、持続可能な未来創りに挑戦します。

代表取締役社長執行役員

田中浩一朗

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞いを申し上げますとともに、治療や感染予防にご尽力いただいているすべての医療関係者の皆様に心より感謝と尊敬の意を表します。田中貴金属グループではさまざまな感染症対策を講じて事業を継続してきました。生産・開発の現場ではお客様への供給責任と共同開発責任を果たすために、また資産用・宝飾用事業の最前線では卸売・小売など貴金属流通の責任を果たすために、そして何より従業員とご家族の方々の安全と健康を守るために、今後も感染回避の努力・工夫を重ねてまいります。

貴金属は、可能性のかたまりです。宇宙、深海、人体をはじめとしたフロンティアの開拓も、人々の暮らしをより豊かにするデバイスやプロダクトの開発も、貴金属なしに成し得ることはできません。その貴金属の可能性を引き出し、より良い未来を創り出していくことが、貴金属のリーディングカンパニーである私たちの使命といえます。

田中貴金属グループでは、当社の創業200年となる2085年を見据えたうえで持続可能な社会や超長期の企業経営をめざす「TANAKAルネッサンスプラン(TRP)」を2021年度よりスタートさせました。

一般的には3年や5年を目処に中期計画を掲げる企業が多い中で、63年後の未来を考えようというのはとても大きな挑戦です。そこには、全従業員の知の結集が不可欠となります。従業員一人ひとりが自らの頭で考え、従業員を起点にイノベーションを生み出していく。そのような組織文化を醸成していくために、未来創りに向けた私の考えや想いを一冊の本にTRPのバイブルとしてまとめ、2022年4月に全従業員へ配付いたしました。そして、この本を題材に経営陣や従業員と自由闊達に意見を交換し、“誰も見たことがない未来創り”の思考を繰り返しています。

「TANAKAルネッサンスプラン」の中で、キーワードのひとつとなるのが“サステナビリティ”です。2085年の遥か未来をめざすこの計画自体が持続可能性を追求する行為そのものといえるかもしれません。田中貴金属グループは、創業以来130年以上にわたり貴金属のリサイクルを究めることで循環型ビジネスを構築してきましたが、これからはより高い視座・広い視野で、脱炭素・循環型社会への転換を先導していく企業になりたいと考えています。そこで、各工場や事業所で行っている地球環境を守るためのさまざまな取り組みをさらに加速させていくために「田中貴金属グループ カーボンニュートラル宣言」を2022年4月に表明し、2050年にCO_2排出量実質ゼロをめざすことを宣言しました。今後も、希少な資源である貴金属を扱う私たちの強みを活かして地球環境問題や社会課題の解決に取り組み、その先にある持続可能な未来創りに挑戦していきます。

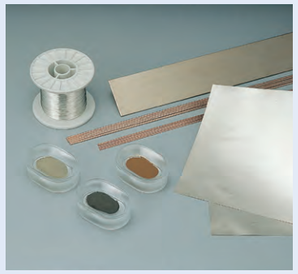
TANAKAの事業

田中貴金属グループは創業から130年以上にわたり、
貴金属による特別な価値を世界へ届け続けてきました。
これからも貴金属ができるすべてのことに取り組み、新しい領域を切り拓いていきます。

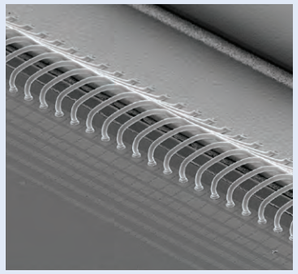
◆ 産業用

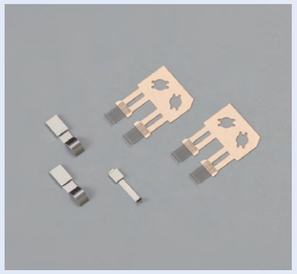
半導体・電子部品から車載、医療まで、幅広い事業分野において
お客様が抱える課題を解決する製品をお届けしています。
貴金属業界のリーディングカンパニーとして、貴金属材料の安定供給を通じて産業全般を、
そして社会の根幹を支えています。

リサイクル

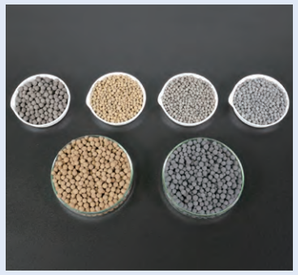

貴金属材料・素材

電気機能材料
(リレー・モーター・スイッチ)
エレクトロニクス機能材料


パッケージ・封止
半導体・電子部品


センサ材料

ガラス溶解装置・理化学品


エネルギー・環境
触媒

メディカル
検査キット

技術開発
化合物

◆ 資産用

資産を最適に分散し保全するための金・プラチナ商品を提供しています。

地金・コイン

金は6000年の間一度もその価値を失ったことがない唯一の存在であり、世界共通の資産です。
LBMA*1、LPPM*2の公認審査会社でもある当社は、世界最高水準の技術で金地金、プラチナ地金を製造しており、お客様の安心のため、必ず新品の地金のみを販売しています。
また当社は各国造幣局に発行国以外で唯一認められた輸入販売総代理店として、金貨、プラチナコインを販売しています。
美しいデザインは贈り物としても人気があります。

*1 LBMA London Bullion Market Associationの略
*2 LPPM London Platinum and Palladium Marketの略

田中貴金属の純金積立

貴金属積立商品

「田中貴金属の純金積立」は、ひとつの口座で月々3,000円から「金」「プラチナ」「銀」を購入することができる商品です。未来の安心に向けて、着実に続けられます。

◆ 宝飾用

人生のさまざまなシーンを輝かせる宝飾品を、永く愛するにふさわしい確かな品質でお届けしています。

ジュエリー・工芸品

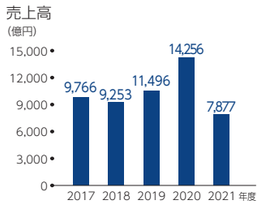
“田中貴金属”の歴史と伝統に培われた確かな品質をお客様にご提供しています。

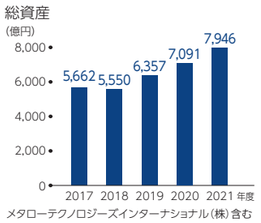
田中貴金属グループ財務状況

■業績要約

百万円

	2020年度	2021年度	前年度比
売上高	1,425,617	787,728	55.3%
当期純利益	39,597	37,757	95.4%
総資産	709,140	794,617	112.1%





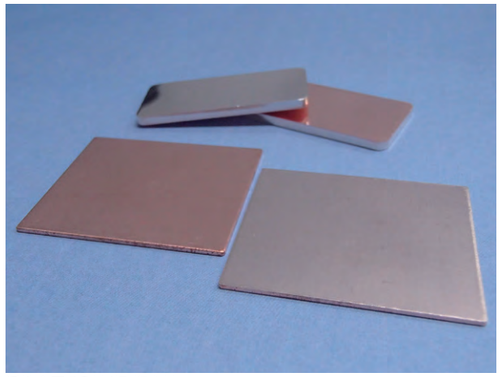
メタローテクノロジーズインターナショナル(株)含む

研究開発

田中貴金属グループにとって、研究開発は価値創造の源泉です。
広い視野をもって貴金属の可能性を追求し、
より豊かな社会、そして美しい地球への扉を着実に開き続けています。

パワーデバイス向け「活性金属ろう材/銅 複合材」を開発 ～次世代ヒートシンクなどへの貢献～

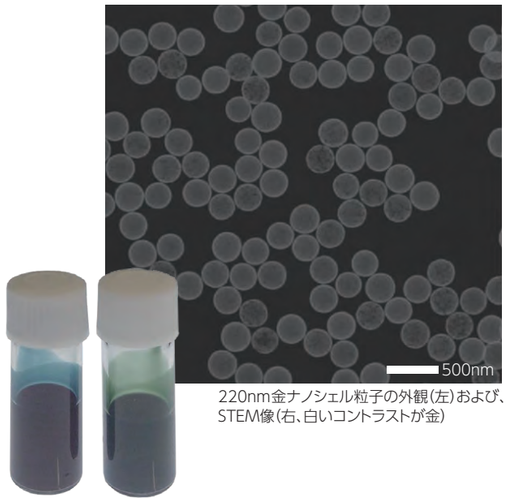
田中貴金属工業(株)では、銅(Cu)材の片側に活性金属ろう材を複合化(クラッド)した製品を開発しました。セラミックス(酸化物、窒化物、炭化物)や炭素素材など任意の材料にダイレクトに接合することができるため、パワーデバイス用セラミックス回路基板や次世代ヒートシンクへの適用が期待されます。特長として、溶剤を含まない材料であるため、残渣がなく、接合信頼性が向上して、VOC(揮発性有機化合物)が発生しません。加えて、ろう付時間が大幅に短縮されることで省エネルギーとなり、環境負荷の低減も期待されます。



活性金属ろう材/銅 複合材:
左・複合材(銅側)
右・複合材(活性金属ろう材側)

高い分散安定性により高濃度調製可能な「金ナノシェル粒子」を開発 ～バイオセンサーほか光学機器応用へ期待～

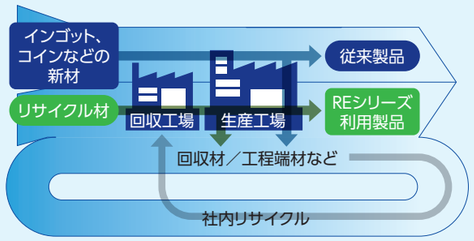
金ナノシェル粒子は、シリカなどの粒子表面を厚さ約10nmの非常に薄い金の層(シェル)で覆うように設計されており、強い表面プラズモン共鳴を示します。また水溶液中および極性溶媒中での高い分散安定性により、現在市販されている金ナノ粒子に比べ100～1000倍高い濃度で分散液を調製することが可能です。金ナノシェル粒子全体の大きさは80nm～250nmの範囲で制御でき、幅広い光学特性をもたせることが可能です。特に高濃度に調製された直径数百nmサイズの粒子は三次元的に集積・構造化することが容易であり、表面増強ラマン散乱、光熱変換材料など可視光から近赤外光領域の光に応答する光学材料としての利用と、高画質を求める液晶に採用される光学ディスプレイや光センシング、プラズモニックナノアンテナや、がん検査などに用いられるバイオセンサーなどの光学機器への応用が期待できます。



220nm金ナノシェル粒子の外観(左)および、
STEM像(右、白いコントラストが金)

TOPICS 100%リサイクル材のみを利用した再生貴金属材「REシリーズ」を発表

REシリーズ(読み方:アールイーシリーズ)は、金(Au)や白金(Pt)などの貴金属資源において100%貴金属リサイクル材のみを精製利用した再生貴金属材です。田中貴金属工業(株)では、創業以来、貴金属リサイクル事業を行ってきましたが、この度、REシリーズ製造ラインを拡充することにより、100%リサイクル貴金属材のみを用いた製品提供を進めることとしました。第1弾製品として、REシリーズの金を用いためっき用金化合物(PGC-RE)を2022年4月から供給しています。



REシリーズ産業製品フロー

REシリーズロゴ

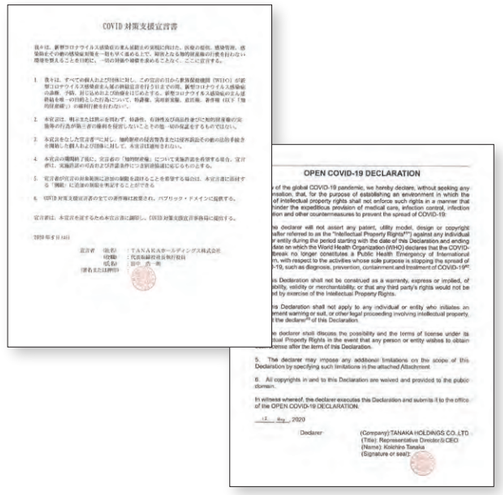
知的財産の創出と保護

発明、考案、意匠、商標、著作物などの知的財産およびノウハウは、企業の重要な財産であるとの認識のもとに、積極的な創出に努めています。新技術の研究、製品・商品の開発、生産および販売にあたっては、第三者の知的財産権を尊重し、侵害行為に対しては各国の法令に則って厳正に対処しています。また、知的財産への意識向上のため、技術部門を中心に年間を通して知的財産教育を実施しています。

知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言

COVID-19対策支援宣言は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とし、賛同者が国内外で保有する知的財産権を行使しない旨の宣言をするものです。当社は本宣言に則り、新型コロナウイルス感染症の早期終結に貢献してまいります。

COVID-19と戦う知財宣言



品質と信頼

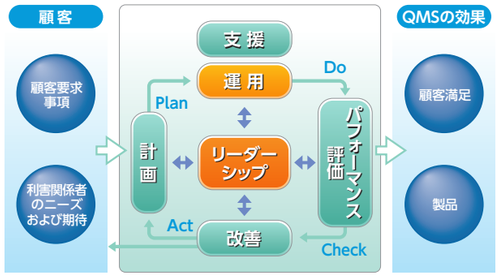
「良い物」をお客様にお届けすることが、田中貴金属グループの信条です。
製品自体の品質はもちろん、製品をつくる過程で人権、環境、安全・衛生、
倫理などにも配慮しています。

品質マネジメントシステムの構築

田中貴金属グループの全工場で、ISO9001に基づく品質マネジメントシステム（QMS）を構築し運用しています。

お客様からの多様な要求品質に対して迅速に対応し、満足いただける安心で安全な製品を継続的に提供するため、QMSの有効性をレビューするとともに、自動車業界向けQMSであるIATF16949の要求事項を反映させるなど、システムの改善に取り組んでいます。

●品質マネジメントシステムの体系図



顧客満足度調査

田中貴金属グループでは2016年度より「顧客満足度調査」を実施しています。本調査は、国内外の産業用ビジネスのお客様より毎年アンケートにご回答いただくことで当社に対する真のご要望やご不満を把握し、さまざまな改善に役立てることを目的としています。

2021年度は170社（国内117社、海外53社）のお客様よりご回答をいただき、平均75.0点（満点:100点）でした。2016年度の調査開始時は平均61.2点でしたが、近年は安定して75点以上の評価を頂戴しています。今後もお客様の満足度向上に向けてさまざまな改善を進めます。

お客様にご満足いただけるCSR外部評価

○RBA※1監査

田中貴金属グループでは、RBA行動規範に沿った「田中貴金属グループ行動憲章・行動規範」を策定し、役職員一人ひとりが日常業務の中で、人権、環境、安全・衛生、倫理などの社会的責任を果たすことを定めています。

2021年度も、複数の国内外工場がRBA認定第三者機関による監査やお客様直接の監査により、RBA行動規範遵守状況の評価を受けました。

○EcoVadis※2認証

EcoVadisによる全社CSR評価（環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達）を受け、2021年度もシルバー認証を継続取得しました。

※1 RBA(Responsible Business Alliance責任ある企業同盟):
電子・電機業界のグローバル有力企業が中心に運営するCSR推進組織。
企業が遵守すべきCSR規範を、具体的にRBA行動規範として定めている。
※2 EcoVadis:
世界160か国、200業種、9万以上の団体・企業の評価を行っているCSR評価機関で、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズ、評価なしの5段階の評価ランクがある。

●取引先への審査

取引のグローバル化に伴うリスクに対応するため、人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除、制裁対象先や反社会的勢力との取引回避といった観点から、取引先の厳正な審査を行っています。

顧客からの評価

お客様の生産活動を支える田中貴金属グループの取り組みは、さまざまなお客様から表彰などの形で評価をいただいています。

【2021年度】お客様からの主な表彰

カンパニー	お客様名	受賞名	表彰を受けた理由
AuAgカンパニー	厦门宏发电声股份有限公司 XIAMEN HONGFA ELECTROACOUSTIC CO.,LTD.	戦略合作奨	サプライヤー総合評価 (品質、デリバリー、サービス、管理)
半導体カンパニー	TONGFU MICROELECTRONICS CO.,LTD.	感謝状	TECの長年の協力への感謝
半導体カンパニー	Chongqing Sokon Motors	感謝状	サプライヤー協力と支持のおかげで 良い関係を築いてこれたお礼
半導体カンパニー	Hua Tian Technology(Xi'an) Co., Ltd.	感謝状	多大なる協力と支持のおかげで 良い関係を築いてきたお礼
半導体カンパニー (TEC)	华天科技（南京）有限公司 Hua Tian Technology(Nan Jing)Co.,Ltd.	2021年度優秀 品質サプライヤー	製品品質の安定およびサービスへの感謝

サプライチェーン・マネジメント

○責任ある鉱物調達への取り組み

田中貴金属グループでは、「責任ある鉱物管理方針」※1を制定し、いわゆる紛争鉱物（金、タンタル、タングステン、すず）やコバルトなどの原材料鉱物の調達において、児童労働をはじめとする人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除を推進しています。

○LBMA※2およびLPPM※3レスポンシブル認証の取得

白金、金、銀、パラジウムについては、LBMAおよびLPPMレスポンシブルガイダンスに基づくデューデリジェンスを行い、指定第三者機関による監査を受け、毎年認証を取得しています。リサイクル材を含む貴金属原料の調達にあたっては、お取引先が、CSR（環境、人権、社会、法令遵守、倫理など）の観点から問題やリスクを抱えていないかを慎重に精査し、責任ある貴金属地金の販売を実現しています。

○調達先への働きかけ

主要な調達先に対して「RBA行動規範」の遵守をお願いするとともに、CSRセルフアセスメントの実施をお願いしています。事業への影響が大きくリスクが高いと判断した調達先には、訪問調査も行っています。

2021年度は約150社に対してCSRセルフアセスメントを依頼し、調達先の自主的な改善を促しています。重大な問題を特定した調達先はありませんでした。

業界団体であるJEITA（電子情報技術産業協会）の「CSR委員会」教育・啓発タスクフォースにメンバーとして参加し、調達先への「責任ある企業行動ガイドライン」教育資料の作成に携わりました。2021年2月の説明会には主要調達先に参加いただきました。

LBMA レスポンシブル・ゴールド認証

LBMA レスポンシブル・シルバー認証

LPPMレスポンシブル・プラチナ・パラジウム認証

※1 https://www.tanaka.co.jp/sourcing_policy/　※2 LBMA:ロンドン地金市場協会　※3 LPPM:ロンドン・プラチナ・パラジウム市場協会

地球環境を守る

美しい地球を未来へ継承することは、国際社会共通の課題であり、大きな挑戦でもあります。
田中貴金属グループは、事業活動による環境への負荷を最小化するために、
あらゆる可能性を追求しています。

2050年カーボンニュートラル宣言

2022年4月に「田中貴金属グループ　カーボンニュートラル宣言」を表明し、2050年にCO_2排出量実質ゼロをめざすことを宣言しました。また、社長をプロジェクトリーダーとする全社横断プロジェクトチームを立ち上げ、工場でのエネルギー効率の向上や脱炭素社会に貢献する製品開発など、カーボンニュートラルの実現に向けた対策を進めています。

田中貴金属グループ　カーボンニュートラル宣言

田中貴金属グループは、地球温暖化という地球規模の社会課題に対し、2050年までにカーボンニュートラルの達成を掲げ、脱炭素社会に資する技術を自らそして社会に積極的に実装していくことで、地球温暖化問題の解決に挑戦します。

事業活動に伴う温室効果ガスを削減するために、自社工場・事業所では、エネルギー効率の向上と製造プロセスの改善、使用するエネルギーのグリーン化など、排出量削減の活動を継続的に実施していきます。

同時に、温室効果ガス削減に貢献する触媒やEV化等に伴う高機能材料など脱炭素社会に向けて取り組むお客様のご期待に応える製品を提供いたします。さらには貴金属リサイクルビジネスの強化によって循環型社会へ貢献することで、豊かでサステナブルな地球の未来を私たちの手で創り出します。

また、「TANAKAの森」を創るなど、植林や森林の再生を保全する活動も視野に入れて進めていきます。

田中貴金属グループはこれらの活動を通してカーボンニュートラルを目指します。

2022年度より社長直轄の全社横断的なプロジェクトチームを結成し、具体的な対応策を検討し実行していきます。これからも田中貴金属グループは、貴金属独自の特性を活かした製品・ソリューションを通じ、お客様はもとより社会全体に価値を提供していきます。

地球温暖化防止の取り組み

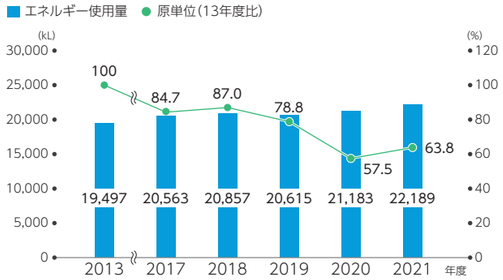
田中貴金属グループでは、省エネ法に準拠するためエネルギー原単位を毎年1%改善する目標を定めています。

好調な事業環境を反映して、エネルギー使用量、CO_2排出量ともに前年度比約5%増、原単位は約10%増(2013年度比36.2%減)となりました。

今後もさまざまな機器の効率化や運用改善などの省エネルギー活動を強化します。

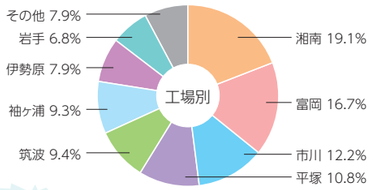
全社目標 » エネルギー原単位を毎年1%改善

●エネルギー使用量、原単位の推移

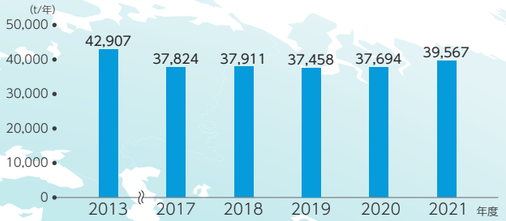


※エネルギーは電気、ガスなどを原油換算して算出。
原単位は損益計算書の売上総利益を分母として算出。

●エネルギー使用量の内訳(2021年度)



●CO_2排出量の推移



※各工場・事業所が立地する地域の電気事業者別CO_2排出係数を年度ごとに使用して算出。

○太陽光発電の導入

田中貴金属工業(株)富岡工場では太陽光発電設備を増強し、2022年1月より稼働を開始しました。従来は工場全体のエネルギー使用量に対して1%のエネルギー削減効果でしたが、今回の増設により3%超となりました。

富岡工場に増設した太陽光パネル

工場名	エネルギー削減効果
田中電子工業(株)佐賀本社工場	4%
田中貴金属工業(株)富岡工場	3%
田中貴金属工業(株)湘南工場	1%
田中貴金属工業(株)伊勢原工場	4%
田中貴金属工業(株)筑波事業所	4%
田中貴金属工業(株)平塚工場	3%

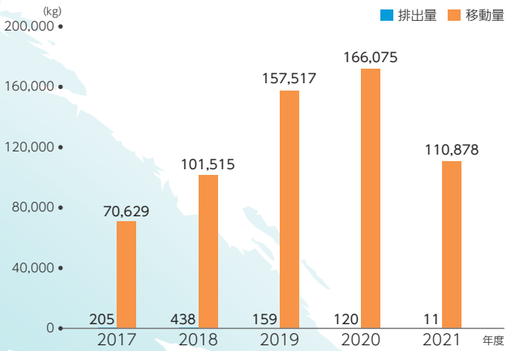
環境汚染の防止

「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律(PRTR※法)」に基づく対象物質について、環境への排出量および事業所外への移動量を国に届け出ています。

今後も環境汚染を防止するため、事業活動における化学物質の適切な管理に努めます。

※ PRTR Pollutant Release and Transfer Register
(化学物質排出移動量届出制度)

●PRTR対象物質の全排出量・移動量



地球環境を守る

循環型社会の構築をめざして

田中貴金属グループは、創業以来絶えることなく貴金属のリサイクルを継続してきました。今日では全従業員が「地金はお金」を合言葉に生産設備内はもとより作業服などに付着した極微量の地金も丁寧に回収しています。

2021年度より始まった中期実行計画「TANAKAルネッサンスプラン」では、循環型社会の構築、ならびにサーキュラーエコノミーの実現に向けた施策を強化すべく、「直接材／間接材／産廃(産業廃棄物)」の3つの領域で当社の活動を再整理しました。

直接材	貴金属の循環利用、環境指標の改善
間接材	CSR報告書再資源化の継続、 他の間接材の再資源化を検討
産　廃	産業廃棄物の削減、ゼロエミッションの推進

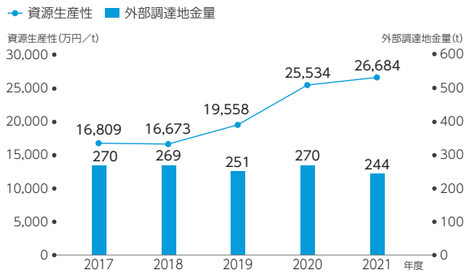
直接材 貴金属の循環利用

●田中貴金属グループ地金フロー図(2021年度)

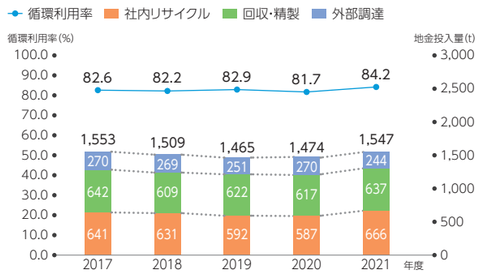
(単位:トン)

・貴金属の種類…白金、金、銀、パラジウムなど。
・外部調達…商社や鉱山会社など、市場から購入した地金。
・回収・精製…お客様からおあずかりした回収物より精製した地金。
・社内リサイクル…製造工程において発生した、製品とならなかった部分の地金。リターン材。何度も繰り返し再利用するため、インプットとアウトプットの重量は一致しない。
・出荷製品…製品として出荷した地金。

●資源生産性(売上総利益／外部調達地金量)



●循環利用率(循環利用地金量／総地金投入量)



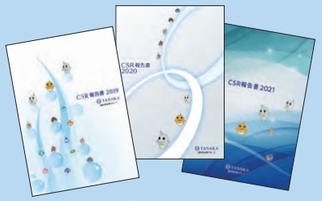
「資源生産性」は、外部調達地金1トン当たりの利益であり、環境視点での「稼ぐ力」といえます。「循環利用率」は、総地金投入量に占める自社でリサイクルした地金量であり、約8割で推移しています。今後、これらの環境指標を改善することで、循環型社会の構築とサーキュラーエコノミー※の実現に貢献します。

※循環型社会の実現と経済活動を両立させる概念。廃棄物や事業活動のムダから富を生み出すことが求められる。

間接材 CSR報告書の再資源化

CSR報告書をLIMEXで印刷し、従業員が読み終えた
CSR報告書を回収して再利用するアップサイクルを実現しました

LIMEXを**使用する** → LIMEXを**回収する** → LIMEXを**再利用する**



TANAKA
CSR報告書2019～2021

読み終えた
CSR報告書を回収

コースター(2020年度)、
コップ(2021年度)を全従業員に配付

間接材での資源循環の取り組みとして、2019年度よりCSR報告書をLIMEX(ライメックス)※で印刷し、読み終えた冊子を回収して再利用しています。初年度はコースター、2年目はコップとして再製品化し、全従業員へ配付しました。

3年目となる今回は、従業員向けの再利用からさらに社会へ貢献できるようにと考え、回収したCSR報告書を資源として寄付することにしました。LIMEXを製造する株式会社TBMを経由して、公園や学校などさまざまな場面で再利用されます。

※LIMEXは、地球上にほぼ無尽蔵に存在する石灰石を主原料とし、水と木材パルプをほぼ使用せずに紙やプラスチックの代替となる環境に配慮した新素材です。「田中貴金属グループCSR報告書2022」では、1冊につき約15Lの水を守ることができます。

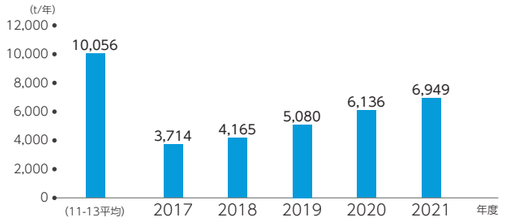
産廃 産業廃棄物の削減

田中貴金属グループでは、産業廃棄物排出量を毎年1%削減する目標を定めています。

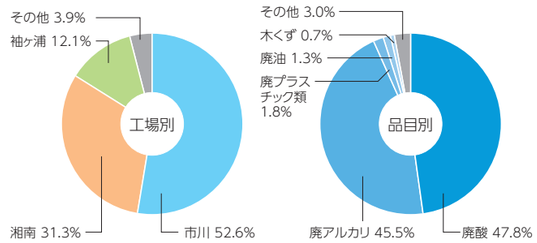
2021年度は前年度比1%削減の6,074tの目標に対して、実績は13%増の6,949tで未達となりました。事業拡大に伴う廃棄物の発生を抑制できるよう、さらなる対策を進めます。

全社目標 » 産業廃棄物排出量を毎年1%削減

●産業廃棄物排出量の推移



●産業廃棄物排出量の内訳(2021年度)



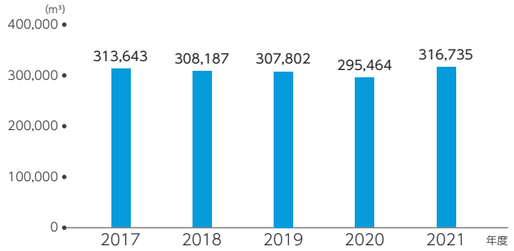
地球環境を守る

水使用量の削減

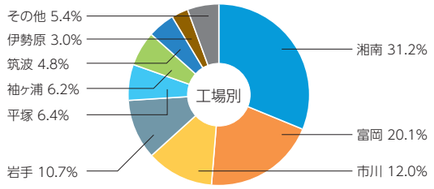
世界的に水不足への懸念が高まっており、事業活動における水使用量の削減に努めています。グループ全体の水使用量を工場別にみると、湘南工場、富岡工場で全体の約半分を占めています。

今後も排水処理による自工場内での水リサイクルやプロセス改善などにより、水資源の有効活用に努めます。

●水使用量の推移



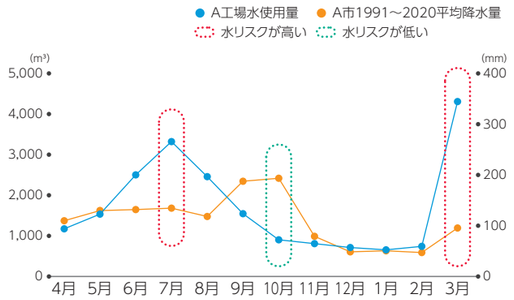
●水使用量の内訳(2021年度)



○水リスクの把握

全工場の水使用量と、立地地域における平均降水量を把握しています。降水量の少ない時期を水リスクが高まる期間と想定し、水使用量の削減をめざしています。

●水使用量と平均降水量の相関(例)



過去30年間の平均降水量と、前年度の水使用量実績の推移を比較し、水リスクが高い時期と低い時期を特定。

環境マネジメントシステム

国内の全生産拠点で環境マネジメントシステム「ISO 14001」の認証を取得し、環境保全活動を実施しています。特に、CO_2排出量削減(地球温暖化の防止)、産業廃棄物排出量削減(循環型社会の形成)、環境異常撲滅活動(汚染の予防)については、グループ全体の目標を定め積極的に取り組んでいます。

環境保全活動を着実かつ円滑に推進するために、各工場・事業所長で構成される中央環境委員会を最上位としたグループ組織体制を構築しています。また、SHE※推進室長会議、環境管理者で構成される環境専門部会を定期的に開催し、情報共有および積極的な意見交換を重ねています。

※SHEは、「安全、衛生、環境」の略です。

●環境保全推進体制

TANAKAホールディングス(株)　代表取締役社長執行役員
- CSR推進部
- 中央環境委員会
- SHE推進室長会議
- 環境専門部会
- 各工場・事業所環境委員会

●ISO14001認証取得事業所一覧

	(取得年月)
田中貴金属工業株式会社	
湘南工場	2000年 10月
市川工場	2002年 5月
テクニカルセンター	2002年 5月
平塚工場	2002年 10月
岩手工場	2005年 1月
伊勢原工場	2005年 3月
富岡工場	2005年 3月
筑波工場	2013年 12月
台湾田中貴金属工業股份有限公司	2010年 5月
田中先端有色金属材料(寧波)有限公司	2019年 1月
田中電子工業株式会社　佐賀本社工場	1999年 8月
田中エレクトロニクス・マレーシア	1999年 6月
田中エレクトロニクス・シンガポール	1999年 12月
田中電子(杭州)有限公司	2005年 2月
台湾田中電子股份有限公司	2013年 3月
EEJA株式会社	2000年 11月

環境異常撲滅活動

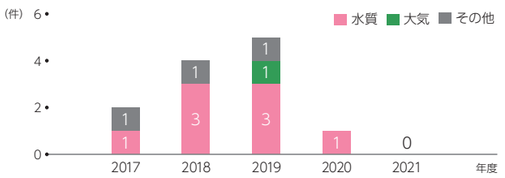
水質汚濁、大気汚染などを未然に防止するため、法規制値よりもさらに厳しい社内自主基準値を設定しています。この自主基準値を超過した場合を「環境異常」と定義しており、さまざまな未然防止活動・再発防止対策を行っています。

●主な社内ルール

	項目	内容
通常管理	自主基準値管理	法基準の50%を 自主基準値として設定
異常対応	環境異常速報	異常事態が発生した際の 早期情報伝達 (原因分析と対策は環境専門部会で確認)
	通報・届出基準	異常発生時における関係行政への 通報・届出に関する基準

※環境異常の定義：法規制違反、自主基準値オーバー、近隣クレーム、場内で収まった軽微な事故など

●環境異常発生件数



生物多様性保全

2020年度より、希望する従業員の自宅や工場の敷地内でノカンゾウ・ハマカンゾウを育てて、増えた株を元の生息地である鶴見川の川辺(神奈川県横浜市)と小網代の森(神奈川県三浦市)に返還しています。2021年夏には鶴見川の河川敷一面にノカンゾウの花が咲きました。

<この活動の目的>

川辺や公園などに繁茂する「ネズミホソムギ」は花粉症の原因として知られ、草刈りでの除去は困難です。そこで、在来種であり地域の希少種でもあるノカンゾウ、ハマカンゾウなどで代替(グランドカバー)することで、ネズミホソムギ群落の抑制をめざしています。ハマカンゾウは盗掘被害に遭うことがあるため、安全な従業員の自宅や工場・事業所内での保護・育成を行っています。

従業員宅で咲いたノカンゾウ(2020年7月)

増えた株を梱包してNPOへ郵送(2020年12月)

現地で咲いたノカンゾウ(2021年6月)

届いた株を元の生息地へ移植(2020年12月)

※01ページ(会社情報、目次)の下部に、従業員の自宅で育ったハマカンゾウ・ノカンゾウの写真を掲載しています。

TOPICS 快挙! 初の環境異常ゼロを達成!!

1964年に環境自主基準値(水質)を法規制値の50%に設定して以来、2021年度に初めて年間を通じて環境異常の発生ゼロを達成しました。法令違反はもちろんのこと、自主基準値オーバーも発生することなく操業を行うことができました。各工場の環境管理者や化学物質管理者を中心として、田中貴金属グループ全従業員で環境保全に努めた成果だと考えています。

富岡工場では、2020年度から2021年度にかけて排水処理施設の大規模改修を実施しました。排水処理設備全体をテント(屋根付きの建屋)で覆うとともに、廃液が場内に漏えいしないための防液堤の設置、ならびに場外へ流出しないための緊急遮断弁の電動化を実施しました。

タンクの周囲に防液堤を設置

排水処理設備全体をテントで保護

TANAKA NOW

EEJA(株)に26年勤務しています。アメリカ(オレゴン、ニューメキシコ、カリフォルニア)、アイルランド、イスラエルなど海外駐在中にさまざまな世界の自然をみる機会に恵まれました。その中でも、日本の四季を彩る生態系は刹那的に鮮やかであり、はかなげでもある素晴らしい自然環境だと感じています。

EEJA(株)では2021年6月にNPO法人小網代野外活動調整会議よりハマカンゾウ25株を譲り受けました。同年8月には早速美しいオレンジの花を咲かせてくれました。ハマカンゾウの保護を開始して2年目となり、花壇では所狭しと株が増え、2022年7月もたくさん開花しました。

EEJA場内に移植(2021年6月)

ハマカンゾウが開花(2021年8月)

2年目も開花(2022年7月)

EEJA株式会社 SHE推進室
小田切 康志

地域・社会への貢献

田中貴金属グループは、事業活動を通じてご縁が生まれる
地域や国がより健やかで豊かになるように、自らができる貢献をめざしています。
会社としての支援、従業員によるボランティアの両面から、
継続性を大切にする活動を各地で展開しています。

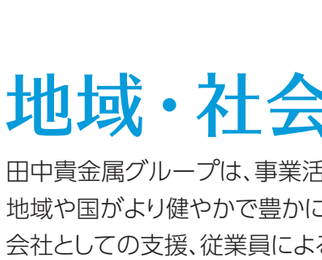
スポーツ振興

「東京都スポーツ推進モデル企業」の認定

TANAKAホールディングス(株)は各種スポーツ大会へ協賛しています。新型コロナウイルスの感染拡大により各種スポーツ大会の観戦をオンライン観戦へ変更するなど、スポーツを通じた従業員同士の交流や健康づくりを推進しています。

また、2012年に日本パラスポーツ協会(JPSA)のオフィシャルパートナーとなり、2017年からは日本ブラインドサッカー協会(JBFA)とブラインドサッカー女子日本代表への協賛も行っています。

このような活動が評価され、2015年度より7年連続で東京都より「東京都スポーツ推進企業」、そして通算4回目となる「東京都スポーツ推進モデル企業」の認定を受けました。



TOKYO 東京都スポーツ推進企業 2021 認定

障がい者スポーツへの支援・参加

田中貴金属グループが協賛する日本パラスポーツ協会や日本ブラインドサッカー協会主催の大会について、コロナ禍でのオンライン観戦を実施したほか、在宅での応援観戦促進策としてガイドブックや観戦グッズの制作・配布を行いました。また、日本ブラインドサッカー協会にご協力をいただき、ブランドサッカーの競技の魅力を学ぶ従業員向けオンライン講演会を開催するなど、コロナ禍に合わせた活動の企画を進めました。

今後もさまざまな機会を通して、障がい者スポーツの理解促進につながる活動を進めていきます。

日本ブラインドサッカー協会
松崎 英吾専務理事

元ブラインドサッカー男子日本代表
寺西 一選手

福祉車両の寄付

EEJA(株)は、社会福祉法人平塚市福祉協議会へ一般車両2台と、車いすの方でも利用できる特殊な車両に改造した車両を1台、計3台を寄贈し、寄贈感謝状をいただきました。

人財育成

田中貴金属記念財団

○貴金属に関わる研究助成金

本制度は、貴金属が貢献する新しい技術や研究・開発を支援するため、1999年度から毎年実施しています。23回目となる今回は、合計137件の応募があり、23件の研究に対し総額1,660万円の研究助成金を給付しました。

●ゴールド賞　各200万円　2件

貴金属含有電子部品のモデルベース設計・生産技術開発の高度化
東海大学 講師　**窪田 紘明 様**

貴金属配線による裏面電源供給ネットワークの形成
横浜国立大学 准教授　**井上 史大 様**

○奨学金制度

2018年度より学術、技術ならびに社会経済の発展に寄与することを目的にスタートしました。2021年度は東北大学の1名の学生を対象に給付しました。

さらに本年度は、奨学金だけではなく多くの学生の皆様が元気になれるよう「100円朝食」を企画しました。

◆2021年7月の9日間:約3,500食
◆2021年10～11月の21日間:約8,000食

「高専ロボコン」協賛

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)は、若者たちが既成概念にとらわれず「自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの面白さを体験し、発想することの大切さ、ものづくりの素晴らしさを共有する全国規模のイベントです。全国の高専学生が毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使してロボットを製作し、各地方大会から全国大会をめざし、競技を通じてその成果を競います。

田中貴金属グループでは、2012年から高専ロボコンに協賛し、日本の未来の技術者を応援しています。

主な活動

寄付・募金活動
従業員に配る月餅購入を通じて【小愉兒社会福祉基金会】へ教育寄付金を募集し寄付を行いました。
台湾田中電子股份有限公司　NT$56,100

寄付・募金活動
介護施設【勵馨基金會高雄愛馨物資分享中心】へ、古着を寄贈しました。
台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター　115着

寄付・募金活動
各工場・事業所ではさまざまな寄付・募金活動を行っています。
田中貴金属ジュエリー(株)、田中電子工業(株)佐賀本社工場、台湾田中電子股份有限公司、田中電子(杭州)有限公司、田中エレクトロニクス・マレーシアSdn.Bhd.、田中エレクトロニクス・シンガポールPte.Ltd.

地域清掃活動
各工場・事業所では工場および周辺などの清掃活動を定期的に行っています。
田中貴金属工業(株)富岡工場・湘南工場・筑波事業所、田中電子工業(株)佐賀本社工場、EEJA(株)、
台湾田中電子股份有限公司、田中電子(杭州)有限公司

その他の活動はホームページから　https://www.tanaka.co.jp/about/csr/communication.html

一人ひとりの活躍

多様性を増す従業員一人ひとりが輝ける職場環境づくりは、
田中貴金属グループの将来にとって欠かせません。
すべての従業員が活躍できるように、さまざまな切り口から職場環境の整備に取り組んでいます。

働き方・休み方改革と多様な従業員の活躍

田中貴金属グループでは、多様な従業員がそれぞれいきいきと働ける職場環境づくりをめざしています。その一環として、働き方や休み方の見直しと改善に、複合的なアプローチで取り組んでいます。

国内	2020	2021
年次有給休暇(5日以上)取得率	100%	100%
年次有給休暇平均取得日数	14.0日	12.8日
(製造部門)	14.0日	12.5日
(間接部門)	14.0日	13.6日
平均残業時間	13.40時間	14.49時間
平均勤続年数　男性	14.5年	14.4年
平均勤続年数　女性	12.7年	13.2年
介護休暇	3名	4名
介護短時間勤務	1名	1名

年次有給休暇

2019年4月から施行された「働き方改革関連法」に対応するため、グループ全体で取り組んでいます。2018年度より「年次有給休暇5日以上の取得」を目標に掲げ、全事業所で達成しました。

介護と仕事の両立支援

従業員が介護と仕事を両立できる職場環境の整備のため、さまざまな取り組みを実施しています。

1. 法定を超える制度
   【介　護　休　業】　要介護状態にある家族1人につき365日取得可能です。
   【介護短時間勤務】　勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮可能です。
2. 相談窓口の設置
   社内外に相談窓口を設置し、介護に関する従業員の相談に対応しています。
3. 従業員への情報提供
   従業員が介護に直面する前から介護に関する情報を得られるよう、
   年齢別研修での冊子の配付や社内イントラネットでの情報提供を実施しています。

TOPICS　くるみん認定取得（田中貴金属グループ4社）

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から認定を受けました。

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し一定の基準を満たした企業が認定されます。引き続き、くるみん認定継続に向けて取り組んでいきます。

認定会社:TANAKAホールディングス(株)／田中電子工業(株)／
EEJA(株)／田中貴金属ジュエリー(株)
田中貴金属工業(株)は2022年に認定を受ける予定です。

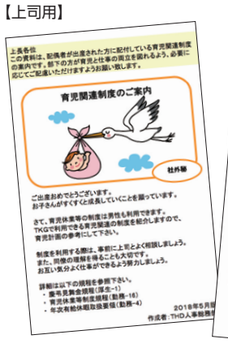
子育てと仕事の両立支援

従業員が子育てと仕事を両立できる職場環境を整備するため、法令で定められている以上にさまざまな取り組みを行っています。今後も働き方改革とワークライフバランスの観点から、従業員の子育てと仕事の両立支援に取り組みます。

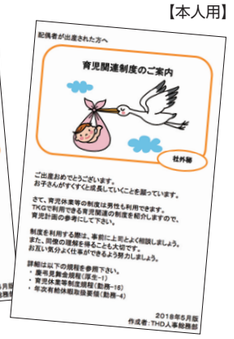
1. 法定を超える制度
   【配偶者出産時の特別有給休暇】
   配偶者が出産した場合には、入院・退院・届出に充てるため、特別有給休暇を3日間取得可能です。
   【育児休業】
   原則1歳6か月(条件を満たした場合は最長2歳)まで取得可能です。
   【育児短時間勤務】
   最長で子が小学5年生となった4月15日まで適用可能です。
   勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮することが可能です。
   【子の看護休暇】
   最長で子が小学2年生となった4月15日まで取得することが可能です。
2. 男性の育児休業等取得促進
   配偶者が出産した従業員とその上司へのリーフレット配付や、
   役職者研修での冊子の配付を通じて、育児に関連する会社制度の
   周知および制度を利用しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。
   男性の育児休業取得者は2016年度以降増加傾向となっています。
   2021年度には過去最多の25人が育児休業を取得するなど、
   取り組みの成果が少しずつ表れています。(29ページ参照)
   今後も従業員の子育てと仕事の両立支援に向けた取り組みを拡充します。

【役職者研修用冊子】

【上司用】



【本人用】



上司用リーフレットには、
本人の希望に応じた制度利用を促す記載があります。

一人ひとりの活躍

障がい者雇用

障がい者雇用を強化するため、障がい者採用イベントに定期的に参加しています。また、少しでも不安を軽減して入社してもらえるように、入社前には、主な障がい特性・必要な配慮などに関する勉強会および職場見学会を実施しています。入社後は、長く安心して活躍してもらえるように、適宜、地域の支援機関や社内関係者と連携を取りながら、定着面談を定期的に行い、気軽に相談してもらえる機会を設けています。

なお、2020年度下期から障がい者雇用の専任者を配置し、採用後のフォローアップを強化するとともに法定雇用率の達成および定着化に取り組んでいます。

定年退職者の再雇用

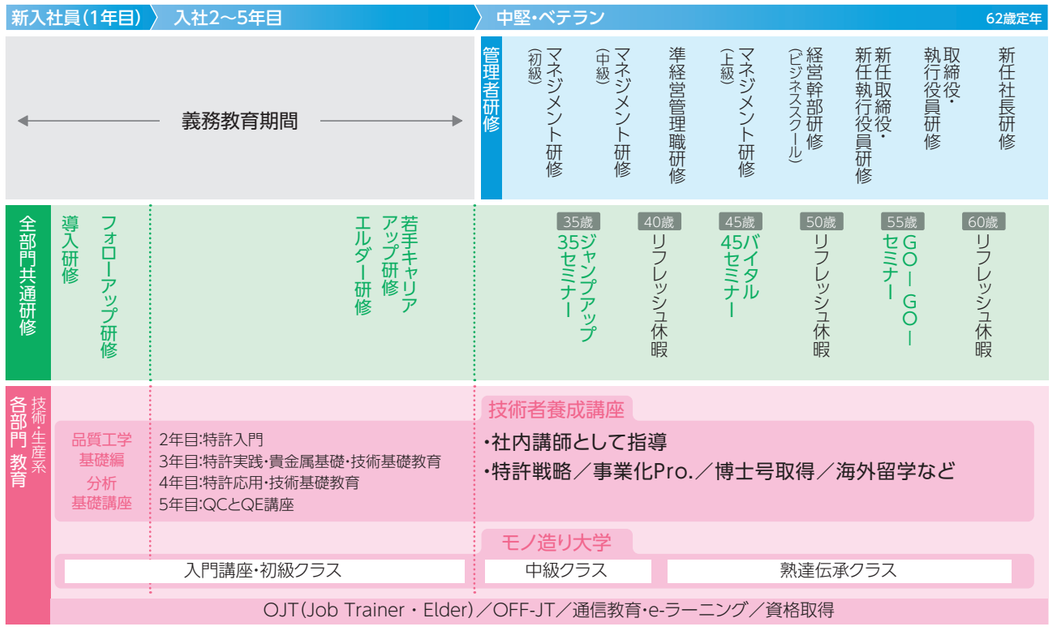
高年齢者雇用安定法に基づき、62歳の定年を迎えた従業員が引き続き勤務を希望した場合、継続して勤務することができます。再雇用契約の期間は原則1年間とし、会社と従業員の双方の合意によって契約を更新します。再雇用の限度年齢は原則65歳としています。

人材育成

田中貴金属グループでは、従業員一人ひとりの成長が組織全体の活性化につながるように、新入社員から役職者まで体系的な教育プログラムに沿って計画的な人材育成を行っています。全部門共通研修では、入社時研修に加えて、35歳、45歳の節目に、これまでの自身のキャリアを振り返るとともに、今後の目標を策定することでさらなる飛躍・活躍をめざす研修を実施しています。当社グループの同年齢の従業員が一堂に会することで、新卒入社・中途入社にかかわらず横のつながりを形成し、お互いに刺激を受ける良い機会になっています。

技術系社員には「貴金属の基礎」「品質工学」「特許」の各講座を開講し、主に社内講師による技術伝承の場となっています。役職者に対しては、「マネジメント研修」を実施しています。研修内容は役職に応じて初級・中級・上級のカリキュラムに分かれており、マネジメント層のスキルを平準化・標準化するとともに、役職が上の者こそ率先して学ぶ風土を醸成し、組織の活性化を図ることを目的としています。

●教育プログラム



女性の活躍

ダイバーシティ推進の一環として、2022年4月より複数の企業が参加する異業種交流会を開始しました。各社の女性従業員が自身のキャリアについて意見を交わし、12月には自社の経営トップに対して多様な働き方の実現に向けた提言を行います。ディスカッションのテーマは「自身が望むキャリアを実現するには」。年齢やライフステージが異なる参加者が、各自の職場で抱える働き方の悩みや自身の理想のキャリアなどを語り合います。

また、この異業種交流会に合わせて田中貴金属グループの女性従業員による社内ゼミが発足しました。これはひとりの女性従業員の発案で始まりました。社内でメンバーを募集し、多くの女性従業員の賛同を得て毎月開催しています。世の中の女性活躍に関する先進的な事例を学び、社内の制度と自分たちの現状を理解することで、田中貴金属グループにとっての女性活躍とは何かを考える場となっています。

ゼミ生は、お互いの想いや意見を交わす中で、対話の大切さに気づき、ゼミ生以外の従業員とも対話を重ね、そこから得られた気づきを社内ゼミにフィードバックするなど意欲的に活動しています。先輩女性従業員もオブザーバーとして参加しており世代を超えた交流も生まれています。より良い田中貴金属グループの未来に向けて、今後も女性の活躍を推進していきます。

TANAKA NOW

田中貴金属工業(株)
営業管理統括部 企画室
森本 久美子

ダイバーシティ推進の一環として「輝く私のキャリアの形」について考える女性向け社内ゼミに参加しています。私は産休育休、介護休職を経験し、時短勤務で働く中で常に「キャリアでの自己実現」について考えてきました。コロナ禍により在宅勤務が広がり働き方が多様化した今、これまでの常識にとらわれずに社員一人ひとりがさらに輝けるような働く環境づくりを進める時ではないかと考え、この活動に応募しました。

2022年4月に開催された異業種交流会では、会社組織はもちろんのこと、年齢やライフステージの異なる多様な参加者との議論を通して、ロールモデルが少ないこと、育休復帰後のキャリア設計の難しさなど、さまざまな課題を共有することができました。その上で女性が働きやすくなるためには、職場やパートナーの理解とサポート、在宅勤務やフレックスタイムなど時間の融通が利く制度などが必要ではないかといった意見を聞くことができました。会社の制度だけではなく、職場や家庭、社会における考え方の変革や、多様な生き方をお互いに認め合う環境づくりが大切であることがわかりました。

今後、男女ともにワークライフバランスを保ちながら働ける職場環境づくりや、出産育児に制限されないキャリア形成、性別やアンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)にとらわれない職務のアサインメントなどで、多様な個が最大限の力を発揮し活躍できる環境づくりに貢献していきたいと考えています。

より安全な職場環境づくり

安全で、安心して働ける職場環境づくりは、企業にとって最も重要な、かつ奥深い課題です。
田中貴金属グループは、お互いに協力できる関係づくりを大切にしながら、
従業員の安全と健康の確保に取り組んでいます。

安全活動の振り返り

2021年度の中央方針として「安全を最優先し、安心で・明るい職場を確立する」を掲げ、さまざまな安全活動を進めてきました。

2021年10月より、災害の定義を見直しました。従来は、治療を要さない軽傷災害を重大ヒヤリハットとしていましたが、これらも災害としました。その結果、2021年度の災害発生件数は41件となり、過去の災害発生件数も見直しました。各工場・事業所の安全管理者が参加する安全専門部会において、発生した災害の原因分析、恒久対策を討議し、再発防止に努めています。

2017年度より毎年度行っている「安全対策重点実施活動」は、共通課題の「転倒防止」に加え、各工場・事業所の個別課題「挟まれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」などを年度期首に設定して、対策を実施しています。改善事例の一例を右ページに掲載します。

交通事故発生件数は前年度から9件減の62件でした。過去10年間は60件前後で推移しています。

交通安全の施策として、通勤時に加えプライベートでのマイカーの利用に対しても、ドライブレコーダーの搭載を支援してきました。2021年度は230人に対して支援しました。

災害防止対策だけではなく、従業員が安心して働けるための環境整備にも取り組んでいます。同一部署に所属する従業員が、作業を行う他の従業員の存在を確認できない、または容易に連絡が取れない状況で行う作業を「孤立一人作業」と定義して、このような状態をつくらないために、転倒検知とともに位置情報を把握できる仕組みを導入して、日常の就業管理、人員配置を補い、従業員の人命救助を最優先に直ちに対応できる体制を構築しています。

災害、事故、交通事故の発生件数については、CSRパフォーマンス(29ページ)をご参照ください。

TOPICS 安全教育の事例紹介

正しい道具の使い方をまとめた社内安全資料『Safety and Health Rule of Tanaka(SHRT)』(安全技術指導書)から、主な道具の使い方に関して、CSR通信で定期的に紹介しています。

CSR通信
第2210号
2022年3月14日発行
《労働慣行》

正しい道具（保護具）の使い方を知る
－ No. 1－8　保護手袋　－

道具には必ず正しい使い方があります。安全に作業を行うために、正しい道具の使い方を知り、常に正しい使い方で使用してください。
道具の使い方をまとめた「安全技術指導書く安全作業ルール>SHRT」からいくつかをご紹介するシリーズです。

No.1-8
分類　1．保護具（8）
種類　保護手袋
【目的】
作業を行なう時、手指を災害から保護するためである。

・禁止事項
1）穴の開いている手袋は使用しない。
2）濡れた手袋（発汗、その他）で高熱部に触らない。
3）ビニール、ゴム手袋は60℃以上の熱source では使用しない。作用温度手袋は、揮発（ガソリン）溶剤（シンナー、ベンジン）によって活性溶するので使用しない。
4）回転体に巻き込まれるリスクがある時は手袋の使用を禁止する。

・関連法規
1）安衛令第11条（手袋の使用禁止）
2）特化則第44条（保護衣等）
3）農薬用ゴム手袋規格農林告示第144号（昭和47年12月4日）により規格が定められ、表示製品はこれが貼付されている。
4）基発第401号「労働基準局長通達（実験用手袋）」

区　分	作業名	種　類
一般作業	重量物運搬、有害薬剤取扱、ガラス取扱取扱等	革手、牛革、牛皮革（クロムなめし）ケブラ、綿手
単純軽労作業	金属切粉、ろ過洗浄、研削の押し材交換	合成繊維（ビニール、アイロン）合成ゴム
高熱作業	金属溶融、精錬、電気炉、高温乾燥機、溶接等	布（ボロ手）アルミ蒸着
電気取扱作業	高圧活の活線直線等	天然ゴム

・使用上の注意事項
1）作業前に定められた（支給）手袋を着用する。
2）着用前に点検する。
きず、ひび、割れ、やぶれ、ほつれ、汚面の汚れ等のないこと。
3）革手袋は革質によってはかび込み、かたれ等をおこすことがあるので異常を感じたとき早めに申し出る。
4）使用後は清潔の通常に保管、収納する。
5）油で汚れている手袋は洗浄して使用するかまたは廃棄する。
6）共用のゴム手袋、耐熱手袋等は、管理者を決め、穴やふけ巻の検し、清潔にして保管する。

プラチナ
Platinum

安全対策重点実施活動の事例紹介

事例 1 「転倒」

半導体カンパニー　田中電子工業(株)佐賀本社工場

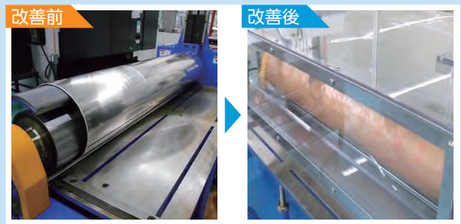
段差があり、通行時に足を打撲、転倒の危険があったため、舗装を行い、段差をなくした。

APカンパニー　EEJA(株)

荷降ろし場にステージを設置して、トラックのパワーゲートをステージ上に降ろせるようにして、荷物を安全に搬入・搬出できるようにした。

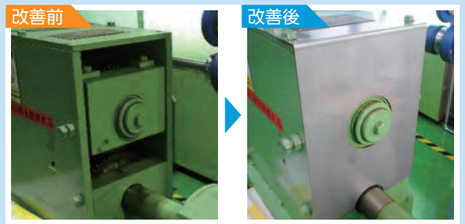
事例 2 「挟まれ・巻き込まれ」

AuAgカンパニー　田中貴金属工業(株)富岡工場



ロールの回転部分に手が入る隙間があったため、カバーを設置し、手が巻き込まれないようにした。

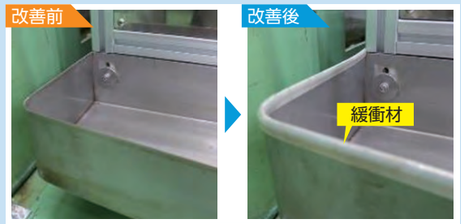
PGMカンパニー　田中貴金属工業(株)伊勢原工場



駆動部分に手が入る隙間があったため、カバーを設置し、手が巻き込まれないようにした。

事例 3 「切れ・こすれ」

AuAgカンパニー　田中貴金属工業(株)平塚工場



油受けの中の材料を取り扱う時に、角に手をぶつけ、切創する危険があったので、緩衝材を設置した。

AuAgカンパニー　田中貴金属工業(株)岩手工場

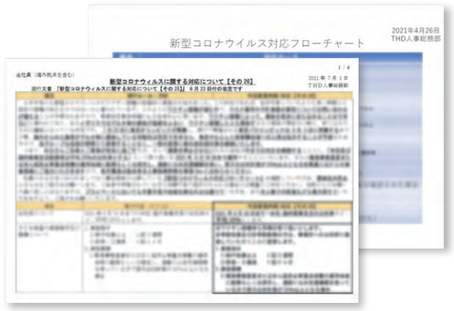
下駄箱の塗装の剥がれ箇所に手が当たり切傷する危険があったので、剥がれのない新品に交換した。

健康経営の実現に向けて

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症に対する、従業員の行動ルールを作成して感染拡大防止を図っています。適宜、社会情勢に対応して改定しています。

また従業員および同居家族に発熱などの体調不良が発症した場合や感染者と接触・罹患した場合の対応方法についてフロー化して周知しています。



行動ルールの主な内容

○飛沫感染予防対策
○在宅勤務や時差出勤
○本社および国内営業拠点の出社率
○PCR検査実施
○国内および海外の出張
○会議および研修の実施方法
○接待および懇親会の開催方法
○プライベートにおける行動の自粛要請

新型コロナウイルス感染症に関する制度

○衛生用品購入のための手当支給継続
○ワクチン接種に伴う特別有給休暇付与
○母性健康管理措置による特別有給休暇付与
○小中高臨時休校に伴う特別有給休暇付与
○育児短時間勤務者への在宅勤務適用

メンタルヘルス

従業員のメンタルヘルスの取り組みは次のように行っています。

○事業所健康管理室に常駐看護職を配置して社内相談体制を整備
○社外相談窓口として健康相談ダイヤルの設置
○ストレスチェックの実施
○復職制度
休職している従業員がスムーズに職場復帰ができるように社内ルール(復帰支援プログラム)を作成しています。
○新入社員および通年採用者にメンタルヘルス教育を実施
社会人生活のスタートにあたりストレスの気づきとその対処方法を身に付けることを学びます。

健康増進の取組

田中貴金属グループでは、「健康宣言」を行い、これに基づき従業員の疾病予防と健康の保持増進の活動に取り組んでいます。

健康診断

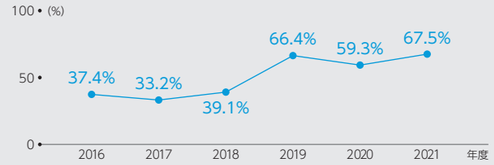
従業員の定期健康診断および二次検査の受診率は100%を維持継続しています。
健康診断の項目に各種がん検診の項目を追加して実施しています。

健康増進イベント

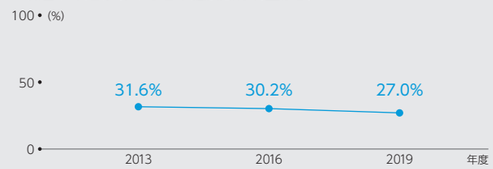
○健康チャレンジ
従業員の健康意識向上と運動や食生活の改善、禁煙などを日常生活に習慣化することを目的に個人で無理なくできる項目を選択して2か月間チャレンジしました。また、従業員の家族も参加できるような仕組みに変更しました。

○禁煙キャンペーン
喫煙者のみならず受動喫煙による影響を考え禁煙を促進する機会として実施。自作ポスター、禁煙川柳、喫煙者へのメッセージを募集し社内に掲示しました。

●従業員参加率



●喫煙率の推移(3年ごとの健康意識調査から)



禁煙の取組

①事業所屋内禁煙
屋内にある喫煙場所は撤去し、屋外喫煙場所では受動喫煙対策を行って決められた時間のみ利用可能としています。

②禁煙外来治療費の補助金支給
専門医療機関で禁煙治療外来により禁煙した場合に補助金を支給します。

従業員の健康意識調査

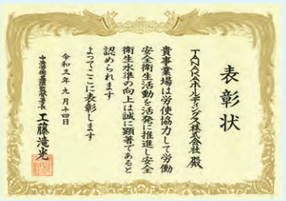
従業員の健康意識や生活習慣および取組状況を把握するために3年ごとに従業員の健康意識調査を行っています。
次回調査は2022年に予定しています。

インフルエンザ予防接種補助金

従業員および扶養する家族がインフルエンザ予防接種を行った場合に補助金を支給しています。

TOPICS 労働基準監督署長表彰を受賞

TANAKAホールディングス㈱では安全衛生の取り組みに対して中央労働基準監督署から2021年9月に労働基準監督署長表彰を授与されました。



TOPICS 健康優良企業(銀の認定)更新

2019年8月に「健康優良企業(銀の認定)」を取得しました。健康診断受診率100%の継続、健康チャレンジや禁煙キャンペーンにより従業員の健康増進の取り組みを継続的に実施したことが評価され、2021年度も更新しました。

また、田中貴金属ジュエリー(株)も2020年11月に認定されました。

TOPICS 健康経営優良法人2022 認定取得

田中貴金属グループ5社※は引き続き「健康経営優良法人2022(大規模法人)」の認定を受けました。

2022
健康経営優良法人
Health and productivity

※田中貴金属グループ5社:
TANAKAホールディングス(株)、
田中貴金属工業(株)、田中電子工業(株)、
日本エレクトロプレイティング・エンジニヤース(株)(2022年4月よりEEJA(株))、
田中貴金属ジュエリー(株)

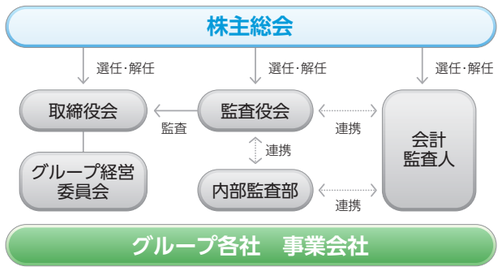
誠実で健全な企業であるために

法令を遵守するだけではなく、社会倫理に照らして正しい事業活動を
グローバルに展開するための取り組みを、グループ全体で継続的に推進しています。

コーポレート・ガバナンス

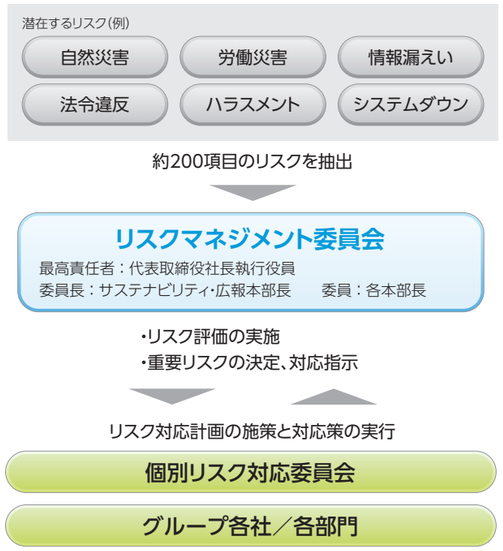
田中貴金属グループでは、すべてのステークホルダーの皆様の権利と利益を尊重し、適法かつ適正な業務執行および会計などを実現するためにコーポレート・ガバナンス体制を構築し、内部統制基本方針を定めています。この体制と基本方針に基づき取締役会・グループ経営委員会・監査役会・監査役会・内部監査部がそれぞれの役割を果たしています。

●ガバナンス体制図



リスクマネジメント推進体制

●リスクマネジメント推進体制図



田中貴金属グループでは、TANAKAホールディングス代表取締役社長執行役員を最高責任者、サステナビリティ・広報本部長を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置しています。年2回開催される同委員会では、リスク評価、リスク対応状況の進捗確認、対応すべき重要リスクの決定と対応指示を行っています。同委員会で決定した重要リスクは、個別リスクを管理する各委員会または担当部署がリスク対応計画を策定し、計画に基づきリスク対応策を実行しています。

事業継続計画(BCP)

事業継続計画書は自然災害などさまざまなリスクに応じて随時改定しています。風水害、新型コロナウイルス感染症のほか、噴火リスクについても対応マニュアルの整備を進めています。また、2020年度より国内10工場にライブカメラを設置しています。工場や周辺の状況をスマートフォンから確認することが可能です。今後、風水害などの際に出社判断や処置判断に活用することを想定しています。

スマートフォンの画面(イメージ)

コンプライアンス教育

コンプライアンス意識の向上と不正行為防止を目的としてコンプライアンスガイドブックの周知、社内通報制度の利用促進、独占禁止法遵守、下請法遵守、腐敗防止、個人情報保護などをテーマにe-ラーニングの実施を継続しています。

リモートワークが日常的になった中、社内情報流出の防止を目的として営業秘密に関するe-ラーニングも実施しています。

人権の尊重

田中貴金属グループは、「田中貴金属グループ　行動憲章・行動規範」において、国籍、人種などによるあらゆる差別をなくし、児童労働や強制労働を一切行わないことを宣言しています。また差別やハラスメントなどの行為を防止するための社内教育を行い、相談や違反を通報できる制度を設け、通報者は不利益を受けないよう厳格に保護されています。さらに、移民労働者に対しては、採用にあたり労働者から登録料や手数料を徴収しないこと、身分証明書、パスポートまたは労働許可証、ビザ等は本人が保管することなど、労働者の人権に配慮するための手順を定めています。

ハラスメント研修

田中貴金属グループでは2014年からハラスメント防止研修を実施、2019年からは企業内で起こり得るハラスメント事例を取り入れてブラッシュアップして行っています。2020年には専門家による事例を交えた幹部向けのセミナーを実施するなど、ハラスメント防止・撲滅に取り組んでいます。

社内通報制度

2021年度の社内通報件数は6件でした。すべての案件について社内通報制度規程に則り、また通報者保護と守秘義務を遵守し、的確に対処しています。

安全保障貿易管理

国際的な平和および安全を基盤として世界中のお客様に製品やサービスをお届けするグローバル企業にとって、国際協調に基づく適正な輸出管理は欠かすことのできない責務となっています。

田中貴金属工業(株)は、外為法などの法令に則り、独自の「安全保障貿易管理規程」(CP)を定め、経済産業省に届出ています。当社の製品や技術が国際テロ犯罪や核兵器・生物化学兵器などに転用されることを防ぐための慎重な輸出管理を行うとともに、域外適用により事実上全世界に規制が及ぶ米国輸出管理規則(EAR)などについても常にその動向を把握し適切な対応に努めています。

AEO認定輸出者としての取り組み

田中貴金属工業(株)は、税関当局から認められた特定輸出者(AEO認定輸出者)として、貨物、輸送、敷地などの安全性の確保、内部監査、委託先管理、税関・社内の連絡体制、教育体制などのコンプライアンス体制を整備するとともに、信頼性の高いセキュリティのもとで製品提供を行っています。

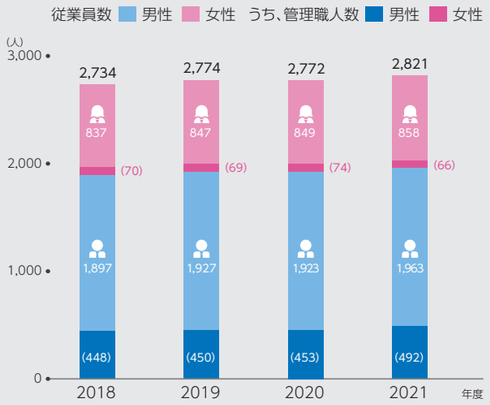
個人情報管理の推進

田中貴金属グループでは、個人情報管理規程に基づき、個人情報を「個人のお客様」「法人のお客様」「社員等」の3つのカテゴリに分類して管理を行っています。特に「個人のお客様の個人情報管理」に関しては、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の規格を一部使用して管理しています。

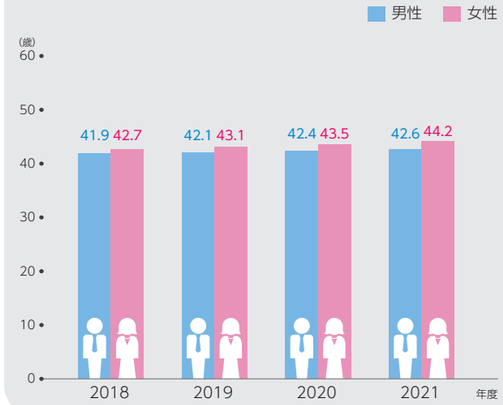
また、半年に1回開催する個人情報管理委員会では、それぞれのカテゴリにおける管理状況の確認および継続的改善を進め、個人情報漏えい事故の防止に努めています。

CSRパフォーマンス

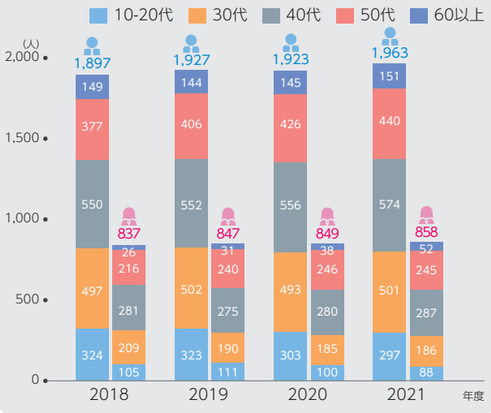
【 従業員数・管理職人数(国内) 】



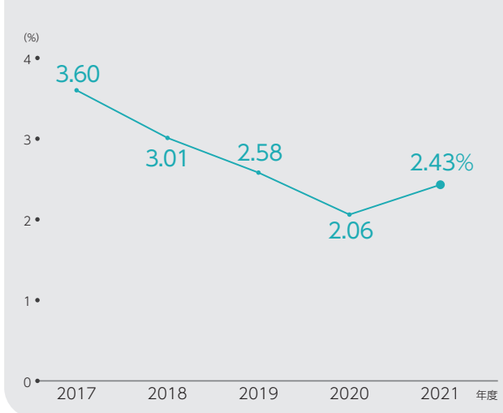
【 平均年齢(国内) 】



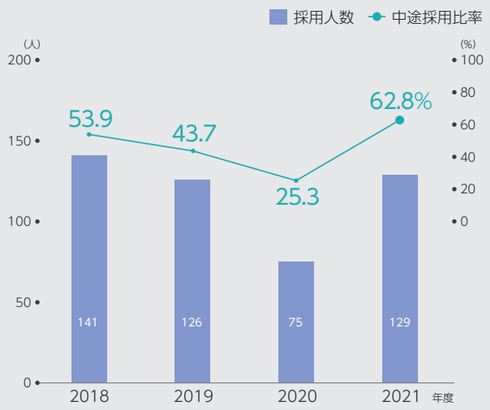
【 年齢別従業員数 】



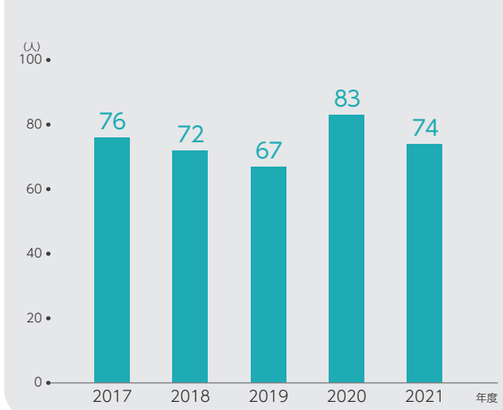
【 離職率 】



【 中途採用比率(国内) 】

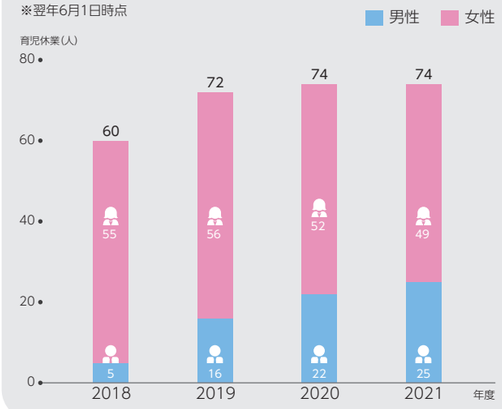


【 定年後再雇用(国内) 】

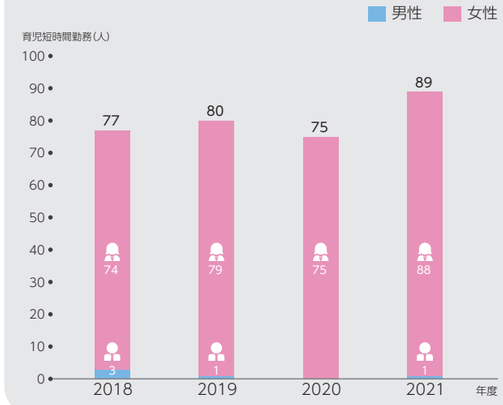


【 育児休業取得者数 】

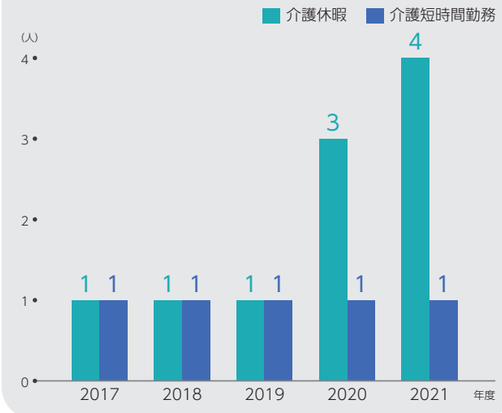
※翌年6月1日時点



【 育児短時間勤務取得者数 】



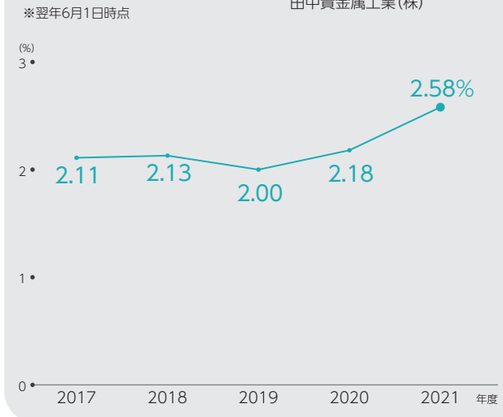
【 介護休暇取得者数・介護短時間勤務取得者数 】



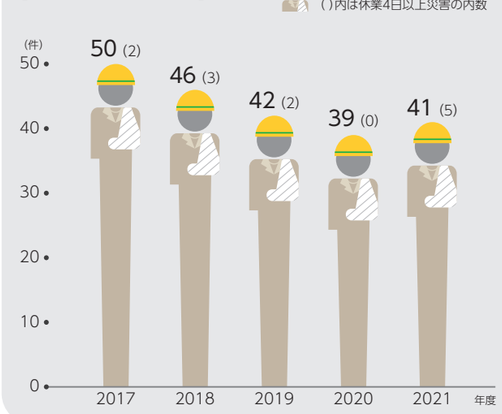
【 障がい者雇用率(国内) 】

※翌年6月1日時点

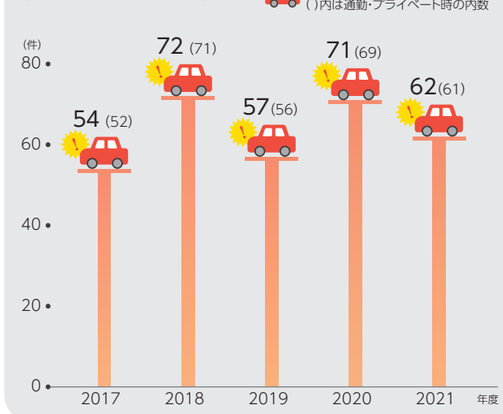
TANAKAホールディングス(株)
田中貴金属工業(株)



【 労働災害発生件数 】



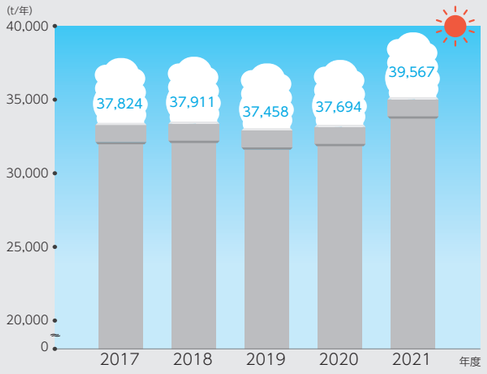
【 交通事故発生件数 】



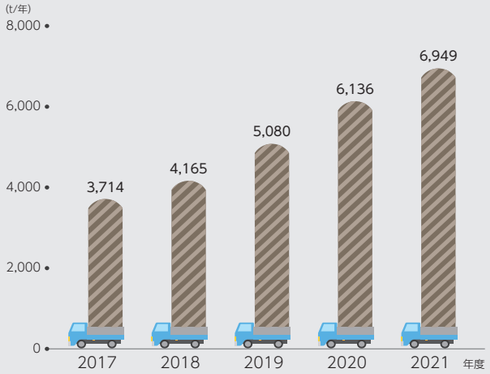
CSRパフォーマンス

【 CO_2排出量 】

各工場・事業所が立地する地域の電気事業者別CO_2排出係数を年度ごとに使用して算出。

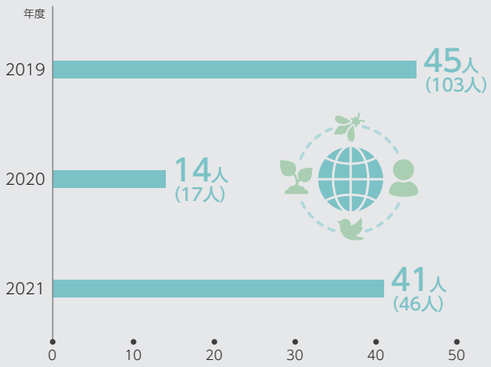


【 産業廃棄物排出量 】



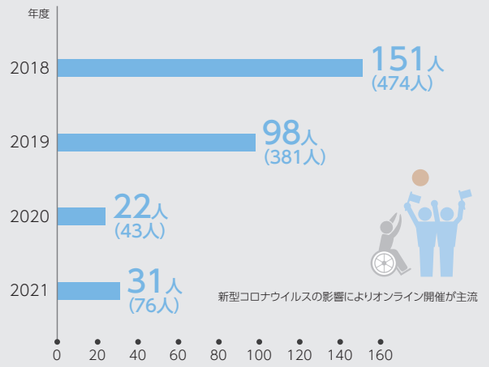
【 生物多様性保全活動参加者 ※実数 】

( )内は延べ人数



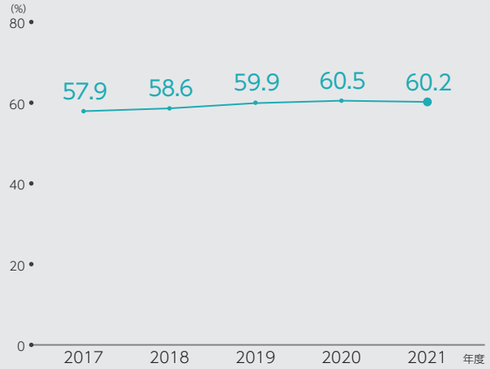
【 障がい者スポーツ　参加人数 ※実数 】（応援観戦・ボランティア）

( )内は延べ人数



【 新規特許登録件数（国内） 】

【 組合組織率（国内） 】



CSRマネジメント

CSRの考え方

CSR<企業の社会的責任>を果たすための活動を、日常業務から遊離した別ものとしてではなく、あくまでも業務の一環としてとらえて、実行することをめざしています。また、社是に示されているすべてのステークホルダー<利害関係者>に対する基本的な姿勢は、創業当時より一貫してCSR活動の支えともなっています。例えば、「地金はお金」に象徴される創業以来絶えることなく日常的に継続してきた地金リサイクル（12ページ参照）はまさしく環境負荷低減活動となっています。社会貢献活動（16-17ページ参照）に代表されるコミュニティへの参画、環境における生物多様性への対応（P15ページ参照）などさらに日常業務へ取り込むべく推進活動を継続しています。

社　是　創業以来130年を超えて、品質や生産性、技術力の向上にとどまらず、企業の社会的責任（CSR）を含めた企業活動のすべてにわたる基本的な姿勢を「社是」として掲げています。

企業理念と行動指針　「社是」に示された基本姿勢のもと、貴金属業界の先頭に立ち、地球環境保全をはじめとするさまざまな事業継続活動を実行し、「ゆとりある豊かな社会」の実現に向かっていくことを「企業理念」に謳っています。また、「企業理念」を実現するにあたり、日常活動において心がけるべき5つの基本的な行動姿勢を「社是」とともに「行動指針」として掲げています。

行動憲章・行動規範　日々の活動の中で、社会的責任を果たし持続可能な社会に貢献するための企業行動原則を「行動憲章」「行動規範」としました。ISO26000の7つの中核主題に則り、国内法令の遵守にとどまらず、国際的に認められた基準も含めて尊重することを前提として定めています。また、本規範を遵守するための適切なマネジメントシステムを構築しています。

田中貴金属グループ行動憲章

組織統治	説明責任と透明性を伴った、健全な事業活動を推進します。
人権	国籍、人種、性別、年齢、社会的身分、職制・職責等に関するあらゆる差別をなくします。
労働慣行	自由闊達な企業風土の中で、安全を最優先し、最高の仕事に取り組みます。
環境	環境保全を推進し、美しい地球の未来に貢献します。
公正な事業慣行	遵法精神に基づき、健全な事業活動を推進します。
消費者課題	お客様の信頼と期待に応え、心はずむ瞬間（とき）を提供します。
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	ゆとりある豊かな社会を目指し、地域社会の活性化に貢献します。

田中貴金属グループ行動規範

人権
1)国籍、人種、民族、肌の色、性別、年齢、宗教、信条、社会的身分、家柄、財産、心身における障がいの有無、政治上の意見等による差別となる行為を一切行いません。
2)児童労働および強制労働を一切行いません。
3)若年労働者には適切な作業環境を提供します。
4)適切な労働時間の管理と賃金の支払いを行います。
5)いやがらせ、侮蔑、言葉による虐待、職務上の立場を利用した不当な強要（いわゆるパワーハラスメント）等の行為を一切行いません。
6)相手および周囲の意に反した性に関する言動等（いわゆるセクシャルハラスメント）の行為を一切行いません。
7)会社や個人に対する誹謗・中傷を行いません。

労働慣行
1)人命尊重を最優先し、労働安全衛生に関する法令を遵守します。
2)安全衛生に関する組織的・継続的な活動の重要性を理解し、積極的な参画を推進します。
3)自己の業務に関わる危険性、心身への有害性を理解し、緊急時への備えを行い、訓練を実施し、事故、災害の未然防止に努めます。
4)従業員の団体交渉および集会への参加の権利を尊重します。
5)従業員に、適切な福利厚生を提供します。

環境
1)環境法規制、地域協定および社内ルールを遵守します。
2)環境に有害な影響を及ぼす化学物質の管理の徹底と削減を推進します。
3)省エネルギー、省資源化を進め、CO_2排出量および廃棄物の削減を推進します。
4)水資源の適切な管理を推進します。
5)「貴金属のリサイクル（再資源化）」に積極的に取り組みます。

公正な事業慣行
1)独占禁止法およびその他の公正競争を維持するための法令を遵守し、公正かつ自由な競争を行います。
2)金品の贈与、接待、寄付金、政治献金の類については、法令および社内ルールに従って適正に行います。
3)贈収賄、汚職、強奪、横領を一切行いません。
4)輸出入する貨物・技術については、国際条約、法令および社内ルールに従って適正かつ必要な手続きをとります。
5)優越的な立場を利用した、取引条件の一方的な変更や購入強制等となる行為を行いません。
6)知的財産権を尊重し、侵害しません。
7)反社会的勢力および武装勢力と関係する相手とは一切の取り引きを行いません。
8)他企業との相互協力・信頼関係の構築に貢献します。
9)営業秘密について会社ルールに従って管理・保護を行うとともに、営業秘密を他に漏らさず、開示せず、または無断で使用しません。
10)会社の利益に反する個人の行為・行動等、企業倫理上問題のある行為を行いません。
11)会社の資産（情報、製品、商品、備品、機器、消耗品、知的財産、ブランド等の有形・無形の資産等）を適正に管理し、不正・不当に使用しません。
12)取引関係で入手した未公表の情報に基づくインサイダー取引を行いません。
13)コンプライアンス違反防止のため、社内通報制度を設けるとともに、通報者に不利益が無いよう保護します。

消費者課題
1)製品・商品・サービスに適用されるすべての法令を遵守します。
2)競争法や表示に関する法令等に違反しません。
3)お客様、お取引先、従業員等から入手した個人情報を保護します。
4)広告等においては、実質的、客観的な根拠に基づく表示を行い、虚偽・誇大な広告を行いません。
5)製品の安全性、製品の品質を確保します。
6)製品・商品・サービスの機能、特徴等に関する情報および、正しい使い方、使用・利用上の注意等に関する情報を提供します。
7)企業情報を開示して、経営の透明性を高めるとともに、企業の説明責任を果たします。
8)誠実な営業活動・サービス活動を行います。
9)過大景品付販売や欺瞞的な販売方法を用いません。
10)会社の信用に関わる品質問題が発生した場合には、適正な対応を行います。
11)お客様からの問合せ、苦情に対しては、社内ルールやガイドラインに従って対処し、適切なフィードバックを行い、問題の再発を防止します。
12)利用資源の最少化、再生材料の活用、省エネルギーを図る製品・商品・サービスの開発に積極的に取り組みます。

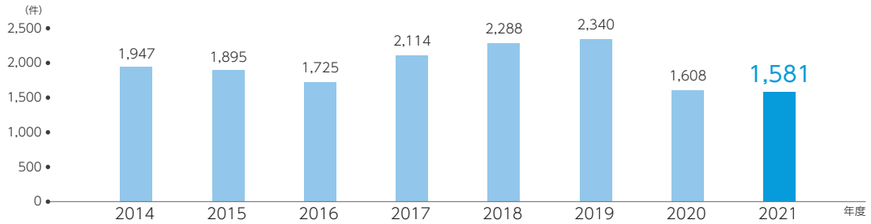
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展　学術研究、教育、環境保全、文化芸術活動、地域社会奉仕等の社会貢献活動を行い、地域社会との調和・共存を図ります。

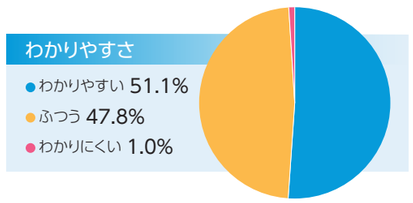
制定日:2008年11月1日　改訂日:2016年10月1日

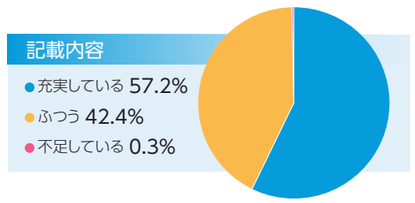
CSR報告書アンケート結果

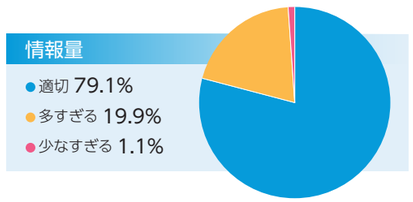
田中貴金属グループでは毎年従業員にCSR報告書アンケートを実施しています。昨年度より、新型コロナウイルス感染予防のために各拠点での取りまとめを行わず、従業員から事務局への個別発送に切り替えるとともに、ウェブサイト上でのアンケートを導入しました。今年度は、回答の17%がウェブサイトからの回答となりました。
※一部、社外のお客様からのアンケート回答も含まれます。

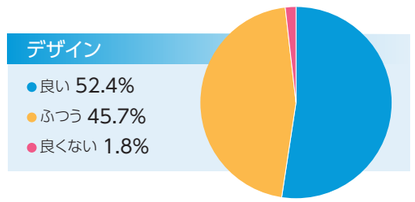
「CSR報告書2021」アンケート結果











昨年度アンケートからのご意見・ご要望

アンケート回答者から毎年さまざまなご意見・ご要望をいただいています。今後も皆様からのご意見・ご要望を参考に改善していきます。

ご意見・ご要望	改善点
報告書の再資源化は寄付などが良いのでは	学校備品や教材の素材として寄付しました
CSRパフォーマンスがわかりやすくて良い	さらにデータを充実しました
仕事と介護の両立についてもっと知りたい	取得状況をCSRパフォーマンスに追加しました
生物多様性保全活動に興味を持った	従業員参加状況をCSRパフォーマンスに追加しました
衛生活動についてもっと知りたい	衛生活動のページを充実させました
ボリュームが年々増えている・多い	昨年よりも4ページ減らしました

第三者保証

田中貴金属グループでは、CSR報告書に掲載するCSRパフォーマンスデータの信頼性向上を目的として、株式会社サステナビリティ会計事務所に第三者保証を依頼しています。詳細は以下の通りです。

1. 目的

「CSR報告書2022」28-30ページ掲載の2021年度CSRパフォーマンスの各指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続きを実施する。

2. 保証手続き

国際保証業務基準ISAE3000に準拠して実施。概要は以下。
・算定方針について担当者への質問
・算定方針の検討
・算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合ならびに再計算の実施

3. 結論

保証手続きの結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

SUSA
Sustainability Accounting Co.,Ltd.

独立第三者の保証報告書

2022 年 9 月 9 日

TANAKA ホールディングス株式会社
代表取締役社長執行役員　田中 浩一朗　殿

株式会社サステナビリティ会計事務所
代表取締役　福島 隆史

1.目的
当社は、TANAKA ホールディングス株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、「CSR 報告書 2022」28 頁-30 頁掲載の 2021 年度 CSR パフォーマンスの各種指標（以下、「各種指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、各種指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。各種指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2.保証手続
当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。
・算定方針について担当者への質問
・算定方針の検討
・算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3.結論
当社が実施した保証手続の結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上